

# 枝豆品種の冷凍適正試験成績と 雪みどりについて

近時野菜の流通合理化対策の一つとして冷凍貯蔵野菜の普及は目覚ましいものがあり、スイートコーン、枝豆、菜豆の他ほうれんそう、南瓜、人参、メロン等各種野菜に及んでおります。我が国では現在のところスイートコーン、ほうれんそうが多く、次いで枝豆、南瓜等となっております。

冷凍野菜とは生鮮な原料を色およびフレーバーが十分に安定性を保つことができるように洗浄調整し、ブランチング（酵素の活性化を防止する程度の湯煮および蒸煮）などの前処理の過程を経て、急速な凍結（最大結晶生成温度帯を急速に通過させ、製品の中心温度が $-18^{\circ}\text{C}$ 以下に達していること）を行い、包装された規格商品で、ストッカーで $-18^{\circ}\text{C}$ （品温）以下に保蔵されたものを総称している訳で、最近の消費動向であります高品質、簡便、季節の克服などが需要者に歓迎されて生産、消費共に年々急増しているものであります。

さてここでは、それら冷凍野菜のうち特に枝豆の冷凍適正品種について、北海道農業試験場が昨年（昭和48年）行った試験成績を紹介して冷凍野菜向枝豆生産者の方々および冷食関係者の方々の参考に供し度いと存じます。

品種の特性と冷凍適性を示す一覧表でおわりの様に雪印種苗で育成発表した「雪みどり」が早生種の中では最もすぐれており、晩生種の中では白鶴の子、早生鶴の子、ユウヅル等がすぐれております。雪みどりは①白毛の枝豆としては最も早生で奥原なみの熟期であり、②莢色は鮮緑色大莢で3粒莢の割合が高く、③食味良く、④収量は奥原なみ、⑤子実は淡緑色で臍は淡褐色の中大粒種、⑥極早生種でハウスやトンネルの早出し栽培はもちろん露地栽培に好適したものでありまして、近く農林省の種苗名称登録品種として発表される予

定であります。（園芸部）

## 枝豆品種の冷凍適性

目的 枝豆の冷凍適性に関する品種差異を検討する。

試験方法

供試品種 17品種（他13品種冷凍試験のみ）

は種期 5月16日 1株3粒まき2本立

栽植距離 畦幅60cm 株間20cm

施肥量 10a当り 堆肥2t, N2kg,  $\text{P}_2\text{O}_5$ 12kg,  $\text{K}_2\text{O}$ 5kg, エガチン4kg

試験区 1区4.8 $\text{m}^2$  (8m $\times$ 0.6m) 乱塊法2  
反復

冷凍加工 ブランチング $100^{\circ}\text{C}$ 3分（収穫当日  
～翌日）

冷凍 $-30^{\circ}\text{C}$  エアブラストフリー  
ザー

解凍  $100^{\circ}\text{C}$  30秒

結果および考察

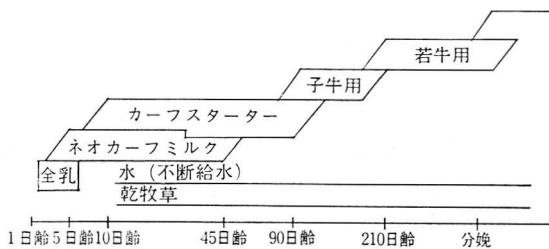
- (1) 晩生系では、トヨスズ、本クラカケ、光黒白鶴の子で2粒莢が多かった。
- (2) 冷凍仕上の外観は莢毛の色、その多少により影響され、白毛は一般に仕上り良好で、褐色の多いものは不良であった。しかし毛が多くても冷凍貯蔵中に全体として脱毛し易いものは販売時の外観として問題はないようである。
- (3) 味については、甘味のあるもの、本クラカケのように特有の香りのあるものに良好の評点を与えた。しかし冷凍品種間に大きな差異は認められず、不良とされる品種はなかった。従って、冷凍品の評価は仕上外観の良否と粒の大きさが主要要因と考えられる。

枝豆品種の特性と冷凍適性

番号	品 種 名	毛 色	毛 の 多 少	粒 の 大 き さ	味	仕 上 外 観		収 穫 期 月 日
						冷凍直後	貯 蔵 後	
1	吉岡中粒	褐	中	やや小	中	—	中	8. 16
2	小袖振	〃	〃	中	〃	—	良	〃
3	樺太1号	〃	〃	〃	〃	—	〃	〃
4	カリカチ	〃	多	〃	〃	やや不良	中	8. 28
5	アサミドリ	〃	〃	〃	〃	中	良	8. 30
6	奥原早生	〃	中	〃	〃	やや不良	中	〃
7	雪みどり	白雪	多	やや大	良	良	良	〃
8	高原早生	褐	〃	中	中	やや良	やや良	〃
9	大谷地2号	〃	〃	〃	〃	不良	やや不良	〃
10	奥原1号	〃	中	〃	〃	やや良	やや良	〃
11	三保白鳥	〃	〃	〃	やや良	良	良	8. 28
12	トヨスズ	白	多	やや大	中	不良	〃	~9. 3
13	本クラカケ	褐	少	〃	良	良	やや良	〃
14	袖振	〃	多	中	やや良	やや良	中	〃
15	大袖振	〃	中	〃	中	中	〃	9.3~9.6
16	光黒子	〃	〃	〃	〃	良	良	〃
17	白鶴の子	白	〃	大	良	〃	〃	9. 11
18	中生光黒珠	褐	〃	中	〃	やや良	〃	9. 6
19	黄宝珠	白	多	小	中	中	中	〃
20	北見白鳥	褐	中	〃	〃	不良	〃	〃
21	ホウライ	白	多	中	良	中	〃	〃
22	キタムスメ	褐	〃	小	〃	不良	不良	〃
23	ナガハジロ	白	〃	〃	中	中	中	〃
24	シンセイイ	褐	〃	〃	〃	不良	不良	〃
25	十勝長葉	〃	〃	やや小	〃	中	中	9. 14
26	早生鶴の子	白	中	大	良	良	良	〃
27	オシマシロメ	〃	〃	中	中	やや良	〃	〃
28	ユウヅル	〃	〃	大	良	良	〃	〃
29	H A R O S C Y	〃	〃	小	〃	中	中	〃
30	B — 14 — C 5	〃	多	小	やや良	〃	—	〃

- 注) 1. No. 18 以下 13 品種は畑作第 1 研究室より分譲  
 2. 49 年 1 月 29 日に貯蔵後の仕上外観と 100℃ 30 秒解凍後の食味調査  
 3. No. 1, 21, 29 は試験時に中英がとれ易かった。

正  
誤  
表



「牧草と園芸」5月号㊟表について誤記がありましたので左記の通り訂正願います。深くお詫び申し上げますとともに今後共、ご愛読者よりご意見ご希望についてご一報下されば幸甚に存じます。

(編集子)